

令和3年度 那賀町ふるさと納税寄附金実績報告

ふるさと納税とは自治体に寄附することで、税の控除が受けられる制度です。ふるさと納税をする自治体は故郷に限らず自由に選ぶことができます。この制度を活用したふるさと納税で那賀町にも全国各地から多数のご寄附を賜りました。感謝の気持ちとともに、本町への寄附件数及び寄附金額をご報告させていただきます。

寄附件数 4120件 寄附金額 93,737,000円

令和3年度ふるさと納税寄附金使途報告

幼児・学童インフルエンザ予防接種助成事業（900,000円）

子ども・子育て支援の政策として、季節性インフルエンザ罹患とまん延予防を目的とし1歳以上19歳未満の町民が行う任意接種に対する費用の一部を負担しました。

学校等での蔓延防止、大学受験や就職試験を控えたお子様まで対象を拡大しました。



木頭ゆず振興事業（900,000円）

木頭ゆず振興事業として、ゆず試験園作業用車両を購入しました。町営ゆず園内での草刈り作業、ゆず収穫や、出荷先への配送などに使用しています。また、鳥獣害対策事業やふるさと学習でのゆず収穫などにも使用しました。今後も様々な場面での運用が期待されます。



農業生産物苗代及び種代補助事業（1,000,000円）

町内の自己所有地において、対象農業生産物を生産している農業生産者に対し、苗代及び種代にかかる費用の一部を補助しました。農業生産者の負担を軽減し、農業生産の安定と維持発展が期待されます。



ドローン利活用推進事業（1,500,000円）

業務でのドローン利活用を促進するため、住民を対象としたドローン操縦講習費用を負担しました。

講習修了者には、技能資格認定証が付与されます。

今後、「空撮」「測量」「農業」「災害支援」など幅広い分野でドローンオペレーターとして、活躍が期待されます。



ふるさとシェアオフィス備品購入事業（1,500,000円）

ふるさとシェアオフィス（旧桜谷小学校）備品購入事業にかかる費用の一部を負担しました。

コロナ禍での新しい働き方としてテレワークの導入やオフィスの分散化等を検討する企業を呼び込み、地域経済の活性化を図ります。



アイヴィレッジ販売促進事業（700,000円）

アイヴィレッジ分譲地の販売促進事業にかかる費用の一部を負担しました。

無料で配布される徳島県内を対象とする月刊の情報誌に分譲地の記事を掲載したことにより、より多くの方に見てもらうことで、認知度アップに繋がり問い合わせが増加しました。引き続き、販売促進に努めます。



文化財保存活用事業（1,000,000円）

名勝「鶯敷ライン」が持つ、激流、巨岩、奇岩等の自然環境および公園内にある文化遺産「氷柱観音」の歴史的、民俗学的な価値が損なわれないよう保存を図るとともに、本町を代表する観光資源として有効活用することが可能となるよう、長期的な視点に立った保存活用の指針となることを目的として計画を策定しました。

この計画を策定することにより明確な保存活用方策が示され、関係機関を含めた当該文化財の管理体制が整いました。



鮎・アメゴ稚魚放流事業委託業務（5,000,000円）

鮎・アメゴ稚魚放流事業委託業務にかかる費用の一部を負担しました。那賀町内の河川に、鮎・アメゴ・ウナギの稚魚を放流し、地域住民の伝統漁法継承と水産業の振興を図ることを目的としています。



那賀町小中学校電子黒板購入事業（6,000,000円）

教育現場のICT化に伴い、町内小中学校の一部にプロジェクター型の電子黒板を設置しました。

この電子黒板は先生や子どもたちの端末から直接映像を受け取ることができ、発表等で非常に活躍しています。

また今までの電子黒板よりも大きい画面で先生の授業を受けられ、1人1台端末の活用も相まって高度な授業が展開できています。

